

平成27年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：環境政策課
 担当名：環境エネルギー・放射線担当
 内線：3004 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B1	水素社会へのスタートダッシュ事業費			一般会計	総務費	環境費	環境保全推進費	低炭素分散型エネルギー社会構築事業費	
事業期間	平成26年度～	根拠法令	エネルギー政策基本法			戦略項目	09	新エネルギー埼玉モデルの構築	
						分野施策	040202	低炭素な暮らしとまちづくりの推進	
1 事業の概要 地球温暖化対策の切り札とも言える水素エネルギーの普及を図るため、水素供給インフラの整備や燃料電池自動車の普及などに取り組む。特に平成27年度から燃料電池車の市場投入が本格化するため、水素社会に向けてスタートダッシュをする取組を進める。 FCV導入(1台)及び水素ステーション設置をリース契約に変更したことによる減。経費節減による減。 (1)埼玉県水素エネルギー普及推進協議会の運営費 1千円 (2)水素供給インフラの整備に係る市町村との調整及び現地調査費 33千円 (3)FCV率先導入事業費 8,000千円 (4)水素エネルギー普及推進事業費 45千円 (5)水素ステーションの整備・運営費 65,022千円				5 事業説明 (1)事業内容 ア 埼玉県水素エネルギー普及促進協議会の運営 155千円 154千円 イ 水素供給インフラの整備に係る市町村との調整及び現地調査 190千円 157千円 ウ FCV率先導入事業 28,407千円 20,407千円 エ 水素エネルギー普及推進事業 4,907千円 4,862千円 オ 水素ステーションの整備・運営 81,900千円 16,878千円 カ 水素利用拡大可能性調査 14,778千円 キ 燃料電池自動車導入補助 100,000千円 (2)事業計画 平成23～26年度 県庁ソーラー水素ステーション・燃料電池自動車の実証事業(環境省委託事業) 27年3月に現水素ステーションは撤去予定 平成26～30年度 埼玉県水素エネルギー普及推進協議会の運営 平成26年度 水素エネルギー活用方策検討調査の実施 平成27年度～ 水素社会普及戦略(仮称)の策定、燃料電池自動車の公用車率先導入、普及啓発 県有施設への大型燃料電池発電の導入の検討・設計、新ソーラー水素ステーションの整備 燃料電池自動車導入補助 平成28年度 県有施設への燃料電池発電の導入 (3)事業効果 ・化石燃料に代わり再生可能エネルギーで製造した水素を活用することで劇的にCO2削減が進む ・蓄電池に加えてエネルギーの貯蔵と輸送の選択肢が拡大することで、さらなるエネルギーの効率利用が可能になる。 ・燃料電池をはじめとする水素エネルギー関連技術は日本が誇る先進技術であり、海外との産業競争力の強化につながる。 (4)県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 (5)補正予算の概要 ア FCV導入予定の2台のうち、1台を購入からリースに変更したことに伴う減 8,000千円 イ 水素ステーションの設置をリース契約にしたことに伴う減 65,000千円 ウ 経費節減による減 101千円					
2 事業主体及び負担区分 県10/10									
3 地方財政措置の状況 普通交付税(包括算定経費) (区分)企画費(細目)環境保全対策費 (細目)環境保全対策費 (積算内容)地域の実情に応じた環境保全対策									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.5人									
				財 源 内 訳					
予算額		諸収入	県債					一般財源	補正後の 予算額
決定額	73,101	2,020	13,000					62,121	157,236
現計額	230,337		18,000					212,337	